

# 情報活用能力を育てる家庭科の授業

- デジタルカメラを活用した活動記録の工夫 -

上柴東小学校 (報告者) 戸谷 光一

(実践者) 黒澤 洋絵

1 題材名 身の回りを気持ちよく(クリーン作戦を実行し、生活に生かそう)

## 2 題材の目標

自分の住まい方を見直し、清掃の仕方を調べたり、考えたり、自分なりに工夫したりしている。学習を通して、家族の役に立つ活動が自分にもできるという達成感と喜びをもたせていく。また、個々の児童の工夫や活動を相互に情報交換する場を設け、学習成果を共有することで、自分の生活に生かそうとする実践化への意欲を高めていきたい。

## 3 指導計画

- 身の回りの汚れを調べてみよう (1)
- クリーン作戦の計画を立てよう (2)
- クリーン作戦を実行し、生活に生かそう (3)・・・本時(3/1)

## 4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

自分が行った活動の情報を記録し、より分かりやすく伝える道具として、視覚にうったえる写真はとても有効な物である。デジタルカメラはプリントして使うだけでなく、そのままテレビに映し出しみんなで共有できるメリットがある。マビカは子どもたちが今まで様々な場面で使用しコンピューターに取り込み自己紹介カードを作るなどして扱い慣れている。本時では、自分たちの工夫や活動を相互に情報交換する手段として活用し、学習成果を共有することで実践化への意欲を高められると考えた。

## 5 本時の学習

### (1) 目標

材質や汚れに応じた清掃ができる。

### (2) 展開

学習活動	時間	教師の支援	資料等	評価の視点
1 学習課題を知る。	3	クリーン作戦を実行しよう。		
2 自分のめあてや清掃計画を確認する。 ・めあて ・清掃場所 ・手順 ・用具	5	・清掃したい場所が同じ者どうしのグループで活動し、お互いに学び合うことができるようにする。 <家庭科室> ガスコンロ、なべ、換気扇、 床、窓 <玄関> 出入り口、じゅうたん	学習カード	

<p>3 計画をもとに清掃する。</p>	<p>3 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動場所が分かりやすいように校舎図を用意する。</li> <li>・清掃する際の約束を確認する。</li> <li>・班ごとに主な清掃用具をかごに用意しておく。</li> <li>・友達と学び合いができるよう助言する。</li> <li>・清掃用具の限られたグループは、協力して作業を進めるように助言する。</li> <li>・グループごとの活動場所を確認しておくと共に安全確認をしながら、個々に合った支援をする。</li> <li>・準備した物を使って、考えながら清掃するよう助言する。</li> <li>・各清掃場所の取り組みを、クラス全体で共有できるようにデジカメで撮影したり、ほこりの実物をとっておくようにする。</li> </ul>	<p>校舎図 清掃用具</p>	<p>関・意・態 身の回りを気持ちよくする活動に関心をもっている。(観察)</p> <p>技能 材質や汚れに応じた清掃ができる。(観察)</p>
				
				
	<p>2 0</p>	<p>各グループの発表に合わせて、デジカメで撮影した画像やほこりの実物を取り上げることで各清掃場所での取り組みや工夫を共有するようにする。</p> <p>きれいになったことの喜びも大事にする。</p> <p>不用品の再利用や洗剤の正しい使用は、地球にやさしくてお金もかからず経済的であることに気づかせる。</p>	<p>デジカメ セロハンテープ デジカメ</p>	
<p>5 実践で工夫したことを発表する。</p> <p>・グループごとがんばったことや工夫したことなどを発表する。</p>	<p>2</p>	<p>家庭でのクリーン作戦の計画を立てることを知らせる。</p>		
<p>6 次時の予告をする。</p>				

## 6 成果と課題

デジタルカメラを使用して活動を記録して結果を発表することは、手軽であり分かりやすくほとんどリアルタイムで行うことができる利点がある。また、写真データは後で単元のまとめでプリントアウトし、活動内容をより実感することができ、自分の生活に生かそうとする意欲を高めることができたと思われる。